

神田警察通り 賑わい社会実験 2016 開催報告

2017 年 4 月作成

02

編集・発行：神田警察通り賑わい社会実験
実行委員会（神田警察通り沿道整備推進協
議会・UR 都市機構）

問合先：UR 都市機構 東日本都市再生本部 都心業務部
千代田区エリア計画課（担当者：月岡・今井・羽島）
TEL：03-5200-8592
Eメール：kanda-pj@ur-net.go.jp

社会実験の目的 | The purpose of pilots

将来の神田警察通りを車中心から人中心の通りに変え、周辺にお住まいの方や働く方にとっての未来の神田のライフスタイルやワークスタイルを考えるきっかけづくりとして、3つの取組みを行いました。

目次 | Contents

ミニ社会実験 &
オープンワークショップ・・・p 3

行動調査・・・p15

トークセッション &
ワークショップ・・・p35



ミニ社会実験 & オープンワークショップ

11.25 ^{FRI} 11:00—15:00

神田警察通りの車道の一部に設置したフリースペースを、来場した約200名の方に体験してもらいました。その中で、「このエリアのお気に入りの場所」へのシール投票や、国内外のたくさんの事例写真を選んでいただきながら「神田にこんな場所があったらいいな」を聞きました。



オープンワークショップ 神田のお気に入りスポット

神田警察通りから一本裏に入った路地空間や、靖国通り沿いには飲食店やオープンスペースをはじめたくさんのお気に入りスポットがあげられました。



オープンワークショップ こんな場所があったらいいな

緑のあるゆったりとしたくつろぎの空間や飲食・遊び・アートの楽しめる場所が求められています。また、路地空間を活かした隠れ家的なお店やおしゃれなしつらえにもニーズがありました。

みどり／Green

緑のある歩道やくつろぎのスペース



建物の緑化



キッチンカー・屋台



飲食

ランチや食事を楽しめる



オープンカフェ



アクティビティ／Activity

子どもの遊び場



遊び・運動



スポーツ・運動・遊び



空間／Space

路地・生活感・昔ながら



隠れ家・小さなお店



Public Space
との中間領域



ゆっくり歩ける広い歩道



おしゃれなしつらえ・デザイン



アート



アート



緑のある歩道やくつろぎのスペース

		
・ 広くて歩くのが楽！緑があって通りすがりだけでも GOOD	・ 広くて緑の空間 ・ 緑と現代アートがコラボしているのが良い	・ 一体感のある緑、広い
		
・ 歩道が広がってゆったりすると良い ・ 緑と日陰の雰囲気 GOOD! シカゴっぽい！	・ 緑が素敵 ・ 歩道の緑 GOOD	・ 色々な緑で癒される
		
・ 色々な変化を楽しめる	・ 大人がくつろげる場所	・ まちなかに緑とくつろぎの空間がある
		
・ 広い歩道、途中にくつろげるスペース	・ くつろぎのスペース	・ いっぱい座れていい！ベンチもいい！

		
・ 緑があってゆったりできるスペース	・ 緑があって休める場所がある	・ 緑
		
・ 気軽にゆったりできる場所が欲しい	・ All people smoking bars and restaurant.	・ オープンスペースがあって広い。水辺があるといいなあ。鳥が来るかも

建物の緑化

		
・ 下町感のある緑 ・ More Green	・ 緑のある木陰でくつろげる	

子どもの遊び場

		
・昭和な感じの子ども。無邪気！ ・オフィス街に子どももいる風景	・都会の真ん中でのび太になれる。大人も遊べる	・子どもたちが自由に遊べる空間
		
・子どもが遊べる面白い遊具がある	・子どもも楽しめる ・スポーツイベント ・避難場所兼公園	・Children Space
		
・子どもたちがチャレンジできる場	・子どもが集まれる場、子どもと来られる場	・子どもが安全に遊べる、分煙

スポーツ／運動／遊び

		
・道路で卓球ができれば楽しい ・道の真ん中を歩いてしまうのを活かして神田の色々なパブリックスペースがほしい	誰もが楽しめるような遊具がある	・春休みにレクリエーション！！してみたいです
	-	-
・活気がある、華やか ・みんなで楽しめる		

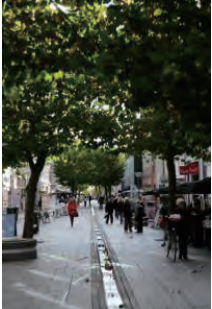
アート

		
・チョークは消えるから GOOD	・身近なアートがいい	・道路を自由に使って新しいことができるといい

ランチや食事が楽しめる

		-
・道端でみんなで食事	・楽しくランチ	

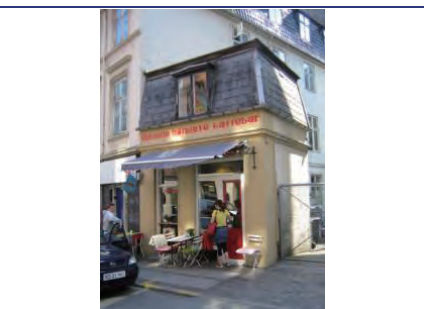
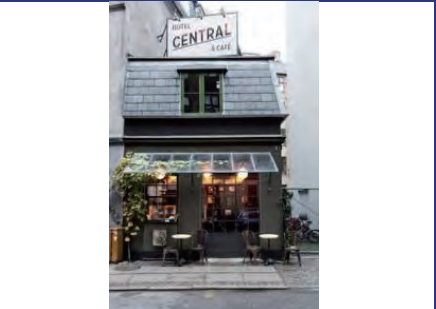
屋台／キッチンカー

		
・ 出店が最高	・ 車道に露店がある。GOOD	・ 食べ歩きできる。すぐできる 食べたいものがある
		—
・ イベント的な屋台	・ キッチンカーが働いている人 に GOOD	

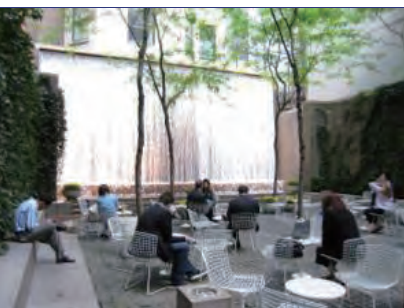
オープンカフェ

		
・ ゆっくりくつろげるカフェ	・ ベンチ 10 倍、カフェ 10 倍	・ オープンカフェがあるとよい

隠れ家／小さいお店

		
・ 隠れ家のようなスペース	・ 仕事帰りに楽しめる場所と時間	—
	—	—
・ 神田らしい小さなお店、建物 がいい		

オープンスペース

		
・ Place people can get together ・ 好きな場所を選択できる空間	・ みんなで休めるスペース ・ 可動椅子が置いてあるオープンスペース ・ 働くのが楽しくなる場所が欲しい。ワーカーのまちだから	・ 外でゆったりできるフリースペース
		—
・ 小さな庭のようなオープンスペースが神田らしい	・ のどかな雰囲気でおしゃべりできる	

交流の場

・老若男女が使えるコミュニティスペース。フリーに使える	・多世代交流を実感	・ピクニックできて良い

パブリックスペースとの中間領域

・まちと建物が近いのが素敵！ ・住空用とパブリックスペースの中間領域 ・Kanda needs a special personality.	・境界線がなく、店のにぎやかさがまちに出ている！	・お店がまちに飛び出しているのが good

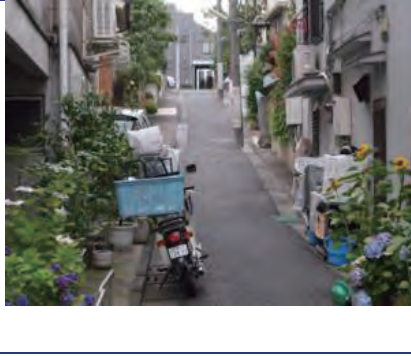
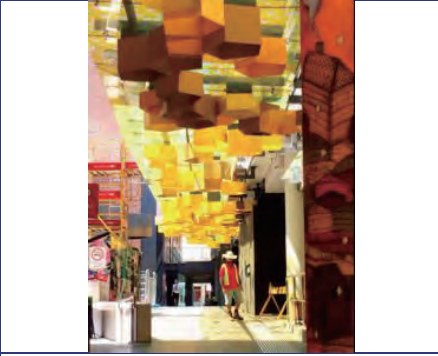
おしゃれなしつらえ／デザインがいい

・素敵なデザイン	・椅子のデザインがカッコいい	・建物が素敵で、散歩や交流ができそう
・フランスっぽい！	・少ししゃれたイメージがよい	—

花屋

	—	—
・ 低い建物に花屋		

路地／生活感／懐かしさ

		
・ 路地裏な感じが GOOD	・ 町人の町を現代人の町にした いから	・ 明るくて生活感のあるまち
		—
・ 昔の街並み、路地の風景	・ small scale fun avenue, good micro scale shopping	

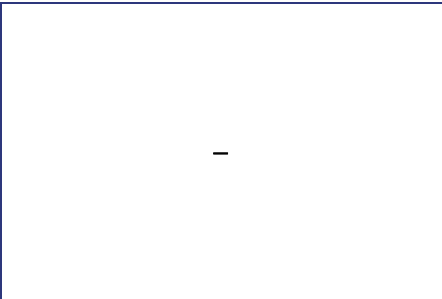
昔ながらのまちなみ

		
・日本家屋が GOOD!	・和の街と外国人の組合せがよい	・古き良きまち！ ・江戸を感じる。商人を感じるような味のある佇まい ・路地っぽい感じがよい
		
・小じゃれてないまちなみ ・昔ながらの風景がよい	・古いお店と緑が good	

歩いて楽しいゆったりした歩道

		
・歩いているだけで楽しい	・歩道がゆったり歩けるスペースがある	・歩行者のための道 ・歩道にテーブルがあって歩いていて楽しそう ・歩道を使うことにチャレンジ
		
・休日は車を止めてみんなで日本酒が飲めるとよい	・広い歩道	・道幅が広くて散歩が楽しめそう

自転車

		
・自転車	・自転車レーンと駐輪場が欲しい	

人と車の共存

		
・人も車も Welcome なまち		

行動調査

11.22^{TUE} — 11.26^{SAT}

この社会実験のために来日したゲールアーキテクト（「人間中心のまちづくり」を提唱）・デイビッド氏、エヴィ氏とともに、このエリアを普段使いする人々の行動調査を行いました。歩行者や自転車、車の量のほか、神田公園や広場で行動観察し、朝・昼・夜の変化を調べました。

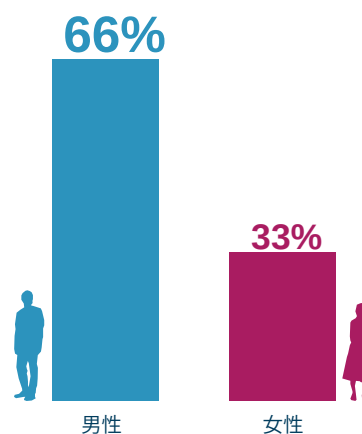
平日の歩行者数は、 靖国通りの歩道が最も多い

計測した歩行者数のうち、 女性は1／3しかいなかった！

その理由は？

- ・ 地域にオフィスワーカーが多く、現在東京では、一般的に女性よりも男性の会社員が多いとされている。
- ・ 多くの男性労働者は外でメンテナンス、配達、建設業に携わっている。
- ・ 正則学園高等学校は、男子校である。

公共空間における理想は、女性と男性のバランスを保つことです。その場所が安全かつ魅力的である印象を与えることができます。

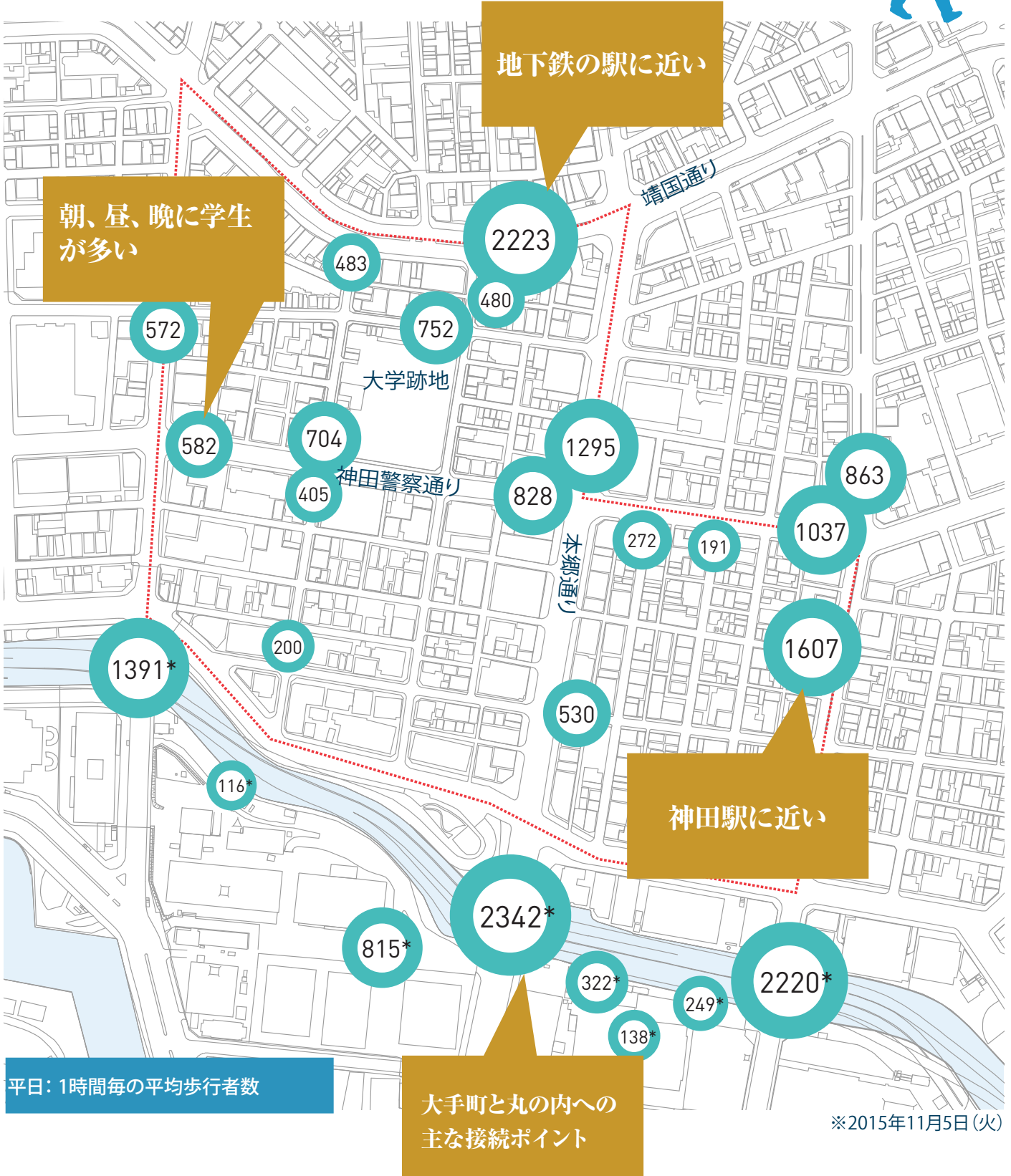


※性別の計測は、15、16、17を除くすべての地点で、さまざまな時間帯でスポットチェックを行いました。





1時間毎の歩行者数計測 (火曜日)

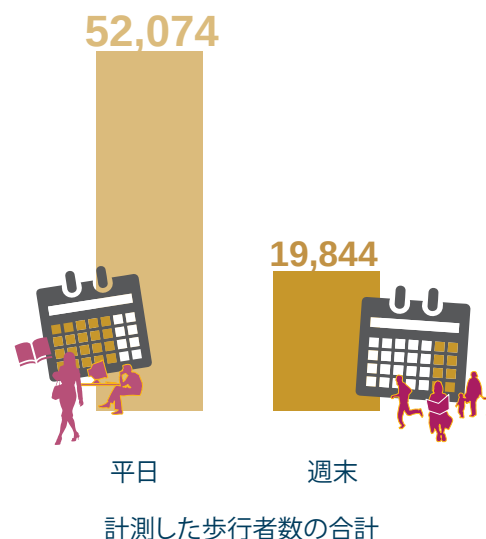


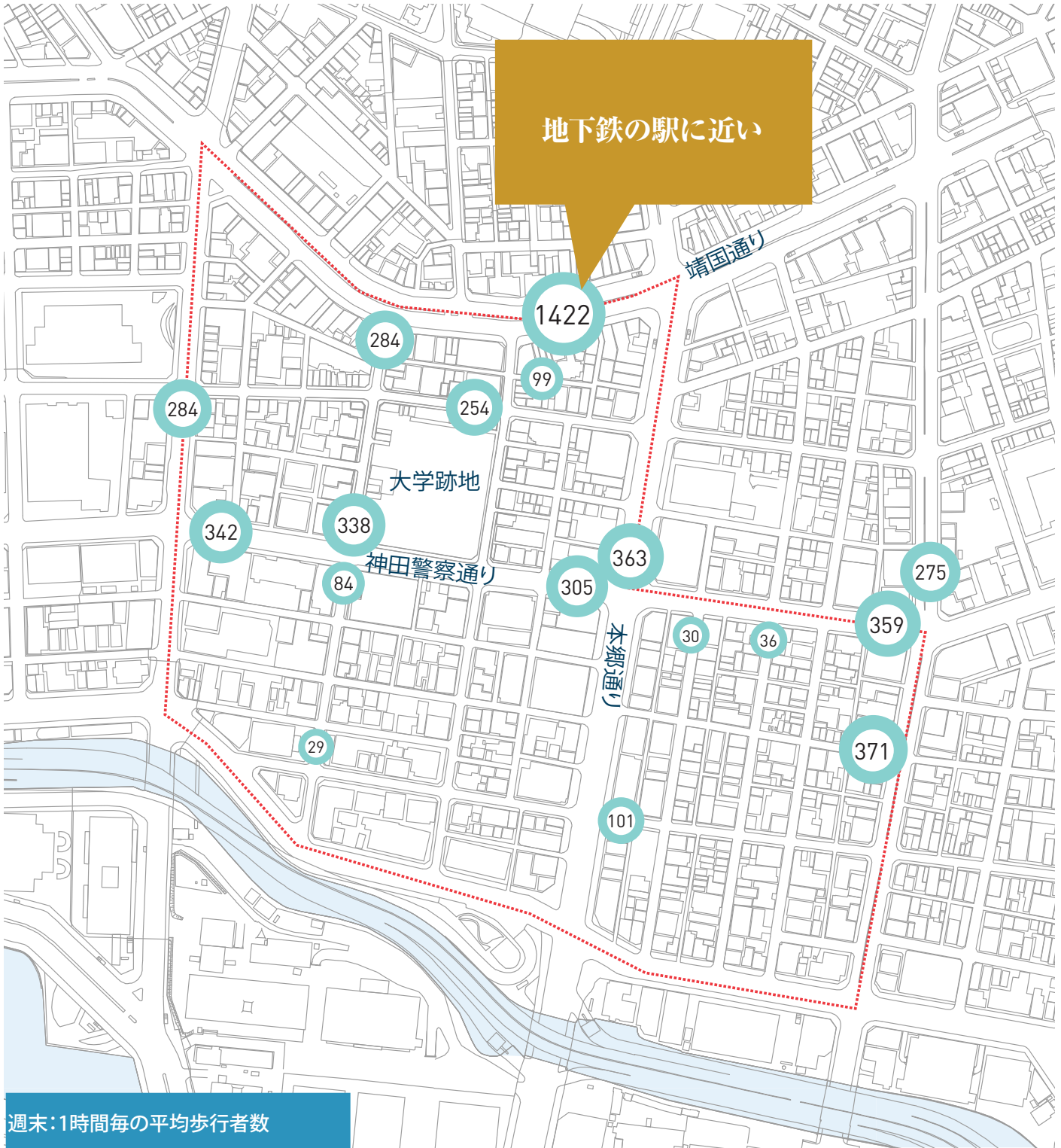
平日に比べて、 週末の歩行者数は半分以下



その理由は？

- ・ 神田には企業のオフィスが多く、そのため平日はビジネスマン／ウーマンが神田に通勤するが、週末はしない。
- ・ 平日は丸の内や近隣地域で働くビジネスマン／ウーマンがコストパフォーマンスの良いランチを求めて神田に来る。
- ・ 週末は通学する高校生が少なく、土曜日の授業があるときのみ通学する学生もいる。





平日に人が滞在する場所として 比較的成功的なのは テラススクエアや公園



広場や公園における低活動性

- ・ 様々なタイプのアクティビティ
- ・ 最も人気が高いのは、カフェの移動式の家具に座ること
- ・ 移動式の家具のある場所に座るとき、人は自分のスペースを確保したが、知り合いと一緒にいないときは1人で座ることを好みます！ 4人掛けのテーブル席でも、1人で占領していることも多く、様々なタイプの席を提供する必要があることを示唆しています。社交的に過ごすための席と、1人で昼食をとったり、仕事、電話、読書、人間観察、休憩をしたりするための席が必要です。



ビジネスマンや学生が昼食や夕食をとるために公共の席を利用している様子



電子機器を利用するビジネスマンが多い

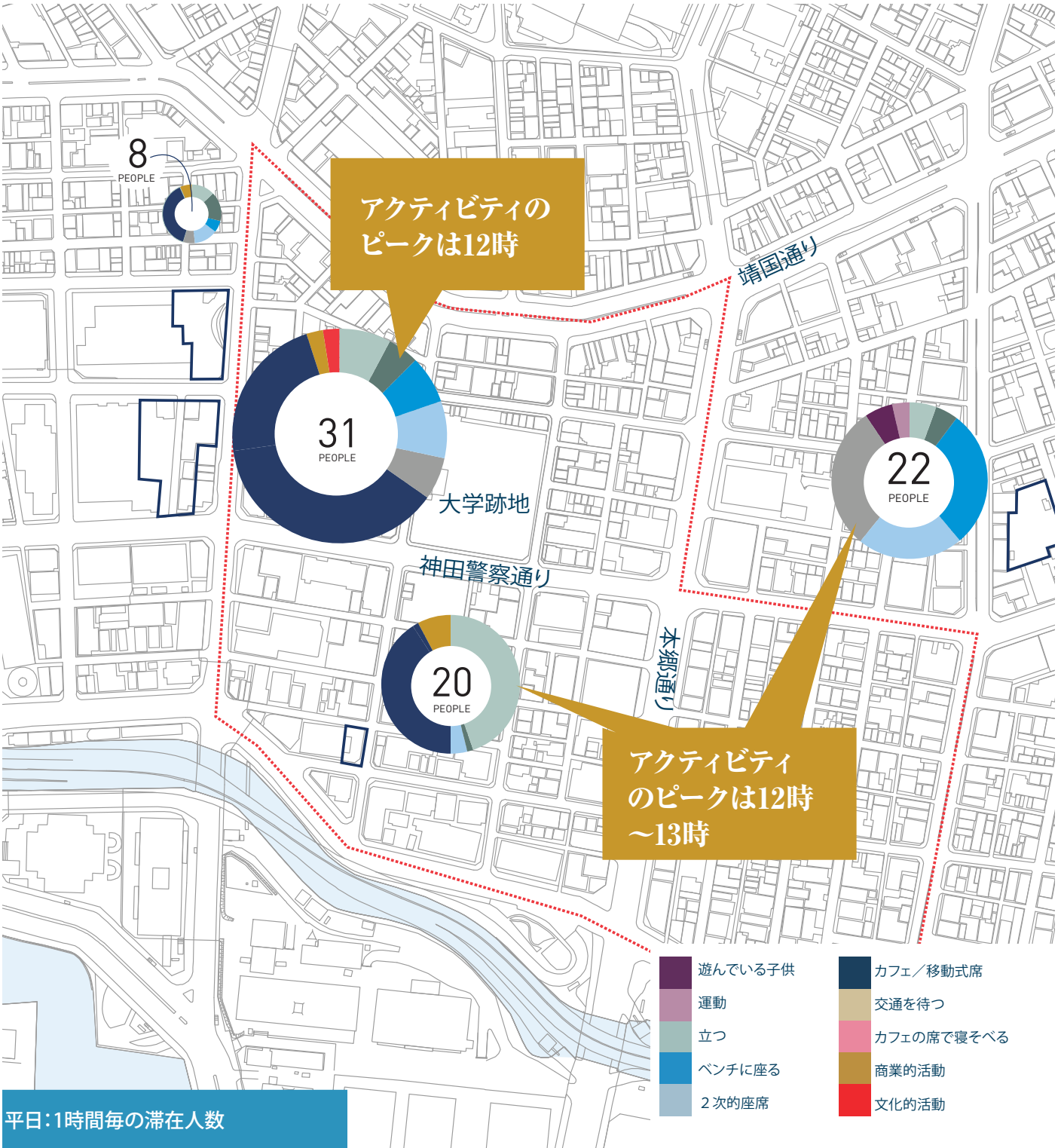


公園はビジネスマンにとって昼食の場



平日は公園に子供が少ない

1時間毎の滞在人数 (平日)

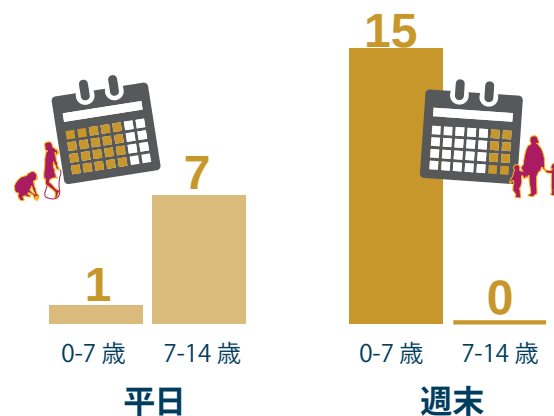


週末は子供が増加 特に0～7歳が多い



週末に地域に残る人は少ないのに、子供が増える？その理由は？

- ・ 学校／幼稚園がないため、家族は子供と過ごす時間ができる。
- ・ 年上の子供が少ない理由は？子供が成長すると家族は都心を離れるのか？神田が子供にやさしい街になるためには？



神田で週末に子供と出かける家族



年上の子供たちが神田で登校時や放課後に滞在する様子



週末に地域を自転車で行く親子

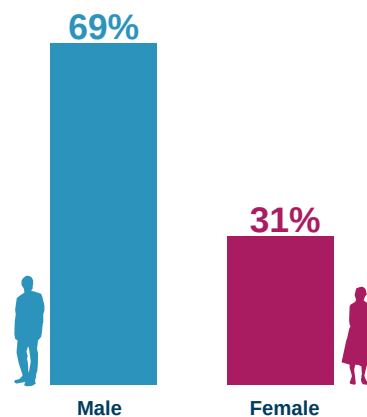


0～7歳の子供たちが公園で遊ぶ様子

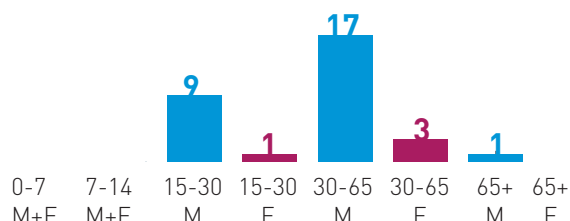
すべての公共空間で、 滞在しているのは女性よりも 男性が多い

滞在型アクティビティ(平日)

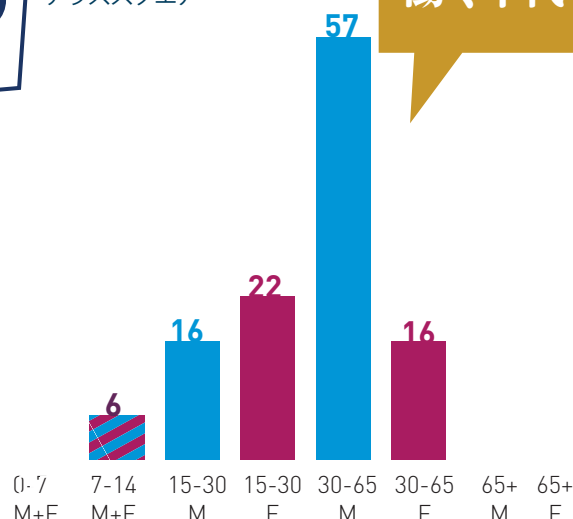
- ・ 平日に公共空間利用する人の多くは「働く年代」の男性だった
- ・ 公共空間に滞在しているのは、女性よりも男性のほうが多いため、性別に不均衡が生じている。これは歩行者の性別の不均衡と同様。



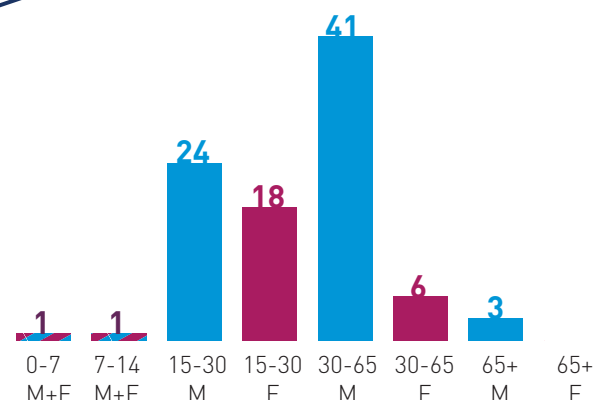
I 神保町三井スクエア



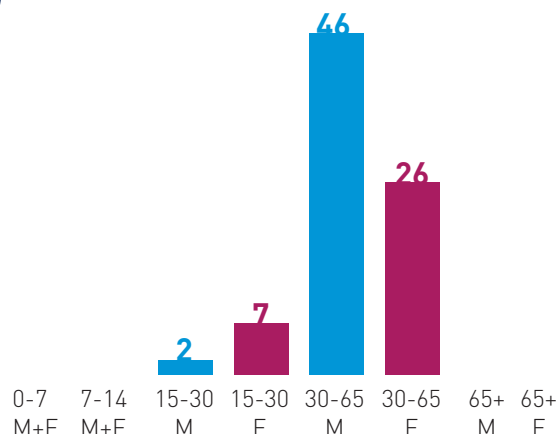
II テラススクエア



III プレイグラウンドパーク



IV プラットフォームスクエア



機能していないファサードは 歩行者体験に「ギャップ」を生じさせる

ファサードの質的基準



A - 活動的

店舗が小さく、軒数が多い
(100mにつき15～20軒)
機能が多岐にわたる
見えない、消極的な店舗がない
ファサードのレリーフが特徴的
主に垂直なファサードの区切り
良い装飾と材質



B - 心地よい

比較的小さな店舗
(100mにつき10～14軒)
機能に多少の変化あり
見えない、消極的な店舗が少ない
ファサードのレリーフ
装飾が多い



C - まあまあ

大きな店舗と小さな店舗がある
(100mにつき6～10軒)
機能のわずかな変化あり
見えない、消極的な店舗がいくつかある
控えめなファサードのレリーフ
装飾が少ない



D - 味気ない

大きな店舗、軒数が少ない
(100mにつき2～5軒)
機能にほぼ変化なし
見えない、消極的な店舗が多い
装飾が少ない、またはない

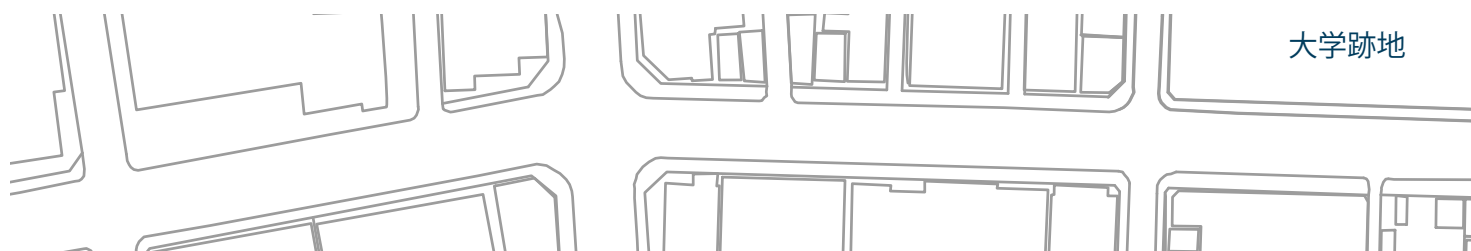


E- 非活動的

大きな店舗、軒数が少ない、またはない
(100Mにつき0～2軒)
見える範囲で機能に変化なし
見えない、消極的な店舗
統一されたファサード、装飾なし、見るものがない



神田警察通り沿いのファサードは 機能の変化に乏しく、スケールが大きい







トークセッション & ワークショップ

11.25 ^{FRI} 18:30—21:00

ゲストのデイビッド氏（ゲール・アーキテクト）、馬場氏（公共R不動産）から、先進事例や海外事例を交えたヒントをもらいました。その後、神田に関心をもって集まった約40名が8グループに分かれ、未来の神田のライフスタイル・ワークスタイルにつながる魅力的なアイデアを出し合いました。

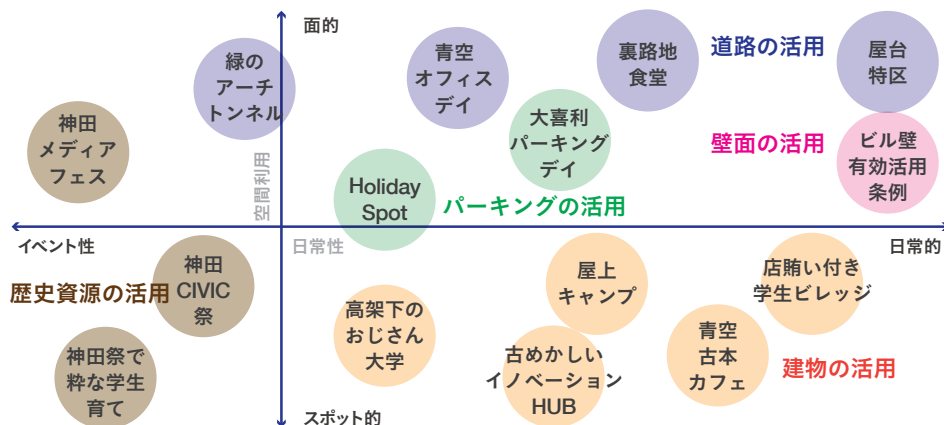
ワークショップ

未来の神田のライフスタイル

道路や壁面、パーキング、建物、歴史資源や文化資源などの Public Space* を活用した16の未来の神田のライフスタイル・ワークスタイルのアイデアが話し合いの中で提案されました。

様々な Public Space* を対象にしたアイデアが提案された中で、Public space をイベント的に活用するよりも、日常的な活用によりライフスタイルやワークスタイルを豊かにするアイデアが多く出されました。

*本社会実験において Public Space は、道路や公園だけでなく、まちに開かれた空間等を広く総称しています。



道路を活用したライフスタイル提案

- ①屋台特区：神田を屋台特区にして、18 時以降は誰でも何でも屋台を出せるエリアをつくろう、というプロジェクト。屋台のない時間帯もパブリックスペースを有効に活用。
- ②裏路地食堂：複数のお店が裏路地を管理、管理しているスペースはお店として使って OK とする。
- ③青空オフィスデイ：○曜日は青空オフィスデーと定め、その日はオフィスの前の路地で仕事をする。異なる会社同士の交流の場となる。人がいなくなったオフィスは、家族が見学したり、就活生が見学したり。
- ④みどりのアーチトンネル：路地を緑のアーチ化して景色を楽しむ。期間限定カフェ。

建物を活用したライフスタイル提案

- ①店賄い付学生ビレッジ：学生寮に住んでいれば、飲食店で割引が効く。割引分は行政が補てん。学生にやさしいまちとして学生が集まってくるまちに。
- ②青空古書カフェ：古書店ビルに古書を持ち込める屋上カフェをつくる。
- ③屋上キャンプ：公共施設の屋上をキャンプもできるビアガーデンに。都会を感じられるスペースにしたい。
- ④高架下のおじさん大学：カッコいいおじさんになれる大学をつくる。おじさんが学ぶだけでなく、おじさんが教えたり、大学生に習ったり。
- ⑤古めかしいイノベーション HUB：看板建築などの古いビルを小商いしたい人に貸し出して、面白い人にどんどん来てもらう。

壁面を活用したライフスタイル提案

- ①ビル壁有効活用条例：ビルの壁に折り畳みのカウンターテーブルと椅子を設置しなければいけない、という条例を施行してしまう。

パーキングを活用したライフスタイル提案

- ①大喜利パーキングデイ：パーキングごとのお題を設定し、嗜好の同じ人が集まる出合いのきっかけに。
- ②Holiday spot：小さな駐車場の上部空間にテラスを設置し、公園・喫煙所・農園など、様々な用途に活用。

歴史資源や文化を活用したライフスタイル提案

- ①神田メディアフェス：神田警察通りを歩行者天国にし、上映会やコンテストなどのメディアフェスを開こうという提案。
- ②神田 CIVIC 祭：屋台を路地や広場でやっていこう。同じ形の屋台を共同購入して、食べ物や本、アンティークなども売買。
- ③神田祭りで粋な学生育て：お祭りの運営委員会の会議などを、大学のキャンパスで実施することで、学生と住民との接点をつくり、学生を神田祭の担い手に。
- ④：KANDA のマチ de マッチング：神田わっしょい税を導入。それを財源に、使われていない場所と使いたい人をマッチング。

｜ 神田の魅力や資源 ｜

個性的でおいしく、低価格の飲食店が豊富にある

- ・喫茶店が多い
- ・カレー屋さんがたくさんある
- ・定食屋が豊富にある
- ・居酒屋が豊富にあり、はしご酒ができる
- ・美味しい飲食店が多い
- ・飲み食いできる場所が多い（個性的な）
- ・コーヒーのお店が増えてきた
- ・安い飲み屋さん
- ・気軽に入れるカフェ
- ・たいやき屋
- ・ワインの店

楽器やスポーツの専門店、専門家が多い

- ・楽器店が豊富にある
- ・スポーツ用品店が密集している
- ・角打ちができる
- ・ミニシアターのまち
- ・アウトドア用品店が多い
- ・専門家がたくさんいる
- ・専門的なお店が多い
- ・画材屋

本のまち

- ・古本屋だけでなく大型書店もある
- ・古本屋が多い
- ・印刷業が盛ん
- ・青空本屋

アクセスのよさ

- ・利用可能な駅が多い
- ・大手町、丸の内などの中心部から5分で来られる
- ・歩いて大企業に行ける
- ・秋葉原まで歩ける

ヒューマンスケールの歩いて飽きないまち

- ・細い路地を探索したくなる
- ・歩いていて飽きない路地が多い、日々新鮮
- ・都心なのにヒューマンスケール

町割や建造物から歴史を感じる

- ・江戸からのまちわり
- ・面白い、歴史的な町名がたくさんある
- ・歴史がある
- ・歴史的建造物がある（学士会館など）
- ・万世橋（鉄道）
- ・古い酒屋

神社や神田祭

- ・神田明神、神田祭
- ・小さな神社
- ・稻荷神社
- ・お祭りの時には人が道に溢れる

下町のあたたかみと品のよさがある

- ・都会の中心部にも関わらず、下町の雰囲気がある
- ・まちで声をかけ合う人情がある
- ・下町なのに程よく品がいい
- ・昔から住んでいる人や昔からある会社がある
- ・渋くて味がある

古いものと新しいものが混在していて特有の活力を感じる

- ・古さと新しさがごちゃまぜになっている
- ・雑多と活力
- ・古い建物と新しい建物が混在している

小規模なお店、昔からのお店が元気

- ・商店街が元気
- ・小商店、スーパー、販売店
- ・店主の顔が見えるお店が多い

土地や建物が小規模、狭い

- ・土地が細分化されている
- ・小規模でトライしやすい新しいお店が多い
- ・東京のど真ん中なのに建物が小さい
- ・使われていない小さな建物が意外とたくさんある

道路、歩道の広さ・狭さ・迫力

- ・路地
- ・一方通行4車線の迫力
- ・歩道が広い
- ・ガードレールに伸びしろがある
- ・細い道、広い道、道が多様
- ・台地と平地があり、坂道が多い

住む人・働く人_学生など多様な属性の人がいる

- ・住む人と働く人が混在している
- ・大学がたくさんある
- ・学生が多い

様々な文化を感じられるまち

- ・かつて中国人留学生がたくさんいた
- ・ロシア正教の協会がある
- ・文化資産（ニコライ堂）がある

新しい物を受け入れる素地がある

- ・他旺盛を受け入れる素地がある
- ・全世代楽しめる
- ・時間帯によって違う風景がある

休日の静けさ

- ・土日は静か

適度に雑然としている

- ・路上の勝手な植栽
- ・路上の落書き

水辺がある

- ・水辺がある（外堀、内堀）

その他

- ・大学、学校の敷地（閉じた場所）
- ・専修大学跡の広い空
- ・駅前が栄えている
- ・神田駅（JR、地下鉄）
- ・比較的待機児童が少ない
- ・皇居ラン
- ・自由に使える公園
- ・知的なイメージ

| 利用したい Public Space |

神田川、川辺のスペース、水上交通

- ・ 神田川
- ・ 川の上に舟を浮かべて利用する
- ・ 川辺、川岸
- ・ 船運

高架下、橋の下

- ・ 首都高、線路の高架下
- ・ 橋脚のあたり

路地や歩道・車道・バス停

- ・ 路地
- ・ 車がほとんど通らない道がたくさんある
- ・ 広くて安全な歩道
- ・ 停車帯
- ・ 休日の車通りの少ない大通りの道
- ・ 車道の1路線
- ・ 中央通り
- ・ 歩道の花壇
- ・ バス停
- ・ 街路樹の周り
- ・ 放水路

多様な飲食店

- ・ オープンカフェ
- ・ 川沿いのカフェ、レストラン
- ・ 大衆酒場
- ・ 学生向けの定食屋

空きビル、空きオフィス、空き家

- ・ 週末の空きオフィス
- ・ 空き家
- ・ 上層階が空いている古いビル
- ・ 木造のビル（8階建てビル丸々オープンスペース）

建物の1階、軒下、ショーケース

- ・ 全ての建物の1階
- ・ 1階にある会社の事務所
- ・ オフィスや家、私有地内の軒下
- ・ オフィスビルのエントランス
- ・ 会社やお店のショーケース

屋上

- ・ ビルの屋上（草野球をやっていた）

公園・皇居

- ・ 皇居
- ・ ダメな公園
- ・ 錦華公園（夏目漱石ゆかりの静かな場所、崖に囲まれた場所）

大学・授業

- ・ 大学の公開スペース
- ・ 授業

駐車場・コインパーキング

- ・ 駐車場
- ・ コインパーキング

看板建築・寺社

- ・ 古い看板建築の建物
- ・ 神田明神

その他

- ・ オフィスビルの工場
- ・ 休日の使えるワークスペース
- ・ 公開空地
- ・ 古書店、古書店街
- ・ 竹橋駅周辺
- ・ 図書館
- ・ 辻音楽

Title

屋台特区 Project

I
グループ

■掛け合わせる神田の魅力



■利用する Public Space

神田の魅力をすべて活用

神田全体

■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア

グラントレベルマップの作成

- ・特区のゾーニングのために、現状の建物の1階部分と Public Space がどんな状況なのか調査・マッピングし、グラントレベルマップを作成する
- ・グラントレベルは概ね人の目線の高さで切って調査をする

屋台特区実現のために必要なこと

- ・ルールを変える：Public Space の利用には申請等が複雑で、自由に利用できないことが課題であるため、特区を活用して、申請等の手間を省いて気軽に Public Space を利用できるようにする
- ・デザインを変える：神田の Public Space にある工作物などのデザインを変える。例えば、歩車道境界のガードパイプや植栽帯のデザインを変え、自由に使える細長いテーブルやイスを配置するなどの工夫が必要
- ・人の意識を変える：Public Space の利用により、苦情や警察への通報などの課題が懸念されるが、Public Space を積極的に利用するまちとしてブランディングし、Public Space を利用したい人が集まるようなまちに変えていく

屋台を出せる時間とエリアづくり

- ・18:00以降は誰でも何でも屋台を出せる
- ・「5」がつく日、「10」がつく日に開催するなど、ルール化できるとよい

音楽屋台

- ・誰でも入れ、外で楽器を使える
- ・音出し特区を設定→外で練習→演奏も聴ける
- ・流しを居酒屋の隣で実施
- ・ストリートピアノで誰でも気軽に弾けるピアノを設置しておく
- ・高架下などを活用して、音の反響や雨を防げるように配慮する

ガードパイプのハイテーブル利用

- ・ガードレールをハイテーブルにして、誰でも利用できるようにする
- ・昼は Free Space、夜は Bar として利用でき、仕事もできる環境にする
- ・電源と Wifi がある
- ・植栽帯のつつじに魅力を感じないので、再編する

大学利用

- ・ 学生が日常的に社会人と接する機会をつくる
- ・ 大学の歩行者が集まる→大学をパブリックスペースに変える
- ・ 屋台学食→パブリックに学食を開放

路地スキマラビリンズ

- ・ 路地の迷路感を活かす
- ・ スキマ利用
- ・ スキマ JACK
- ・ スキマに入り込む

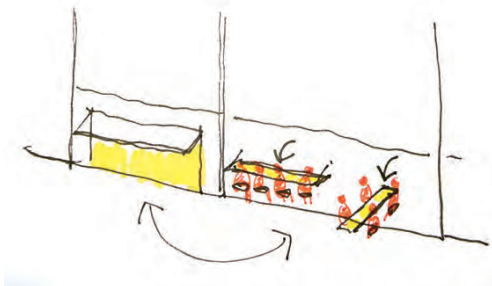
公園ファンクラブ

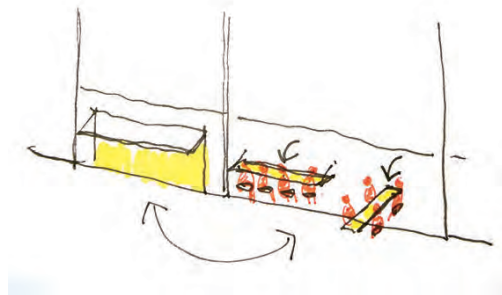
- ・ 児童遊園を活用して働く人と住民が関わる
- ・ ファンクラブづくり
- ・ Parking を Park として利用する

パーカライズ法案

- ・ Parking を Park として利用する
- ・ パーキング（駐車場）のスペースを公園のように変える
- ・ 車1台分のスペースに緑やベンチを設置した一画を設け、近所のお店でテイクアウトした飲食を楽しめるような空間をつくる

Title		
大喜利パーキング		2 グループ
■掛け合わせる神田の魅力	×	■利用する Public Space
ブロックごとに変わる まちのキャラクター		たくさんあるコインパーキング
■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア		
コインパーキングに、まちごとに違う個性を活かしたパブリックスペースをつくる（または曜日ごとに違うパーキングで行い、日替わりで楽しむ）		
・ 移動古本市 ・ 演奏もできる楽器パーキング ・ 立ち食いそばパーキング ・ スポーツ用品店パーキング ・ ボルダリングパーキング ・ ポルシェパーキング、ワーゲンパーキングなど、目印に魅力的な車が止まっているのも面白い		

Title		
ビル壁有効活用条例 ～壁デートなら神田へ行こう！～		2 グループ
■掛け合わせる神田の魅力	×	■利用する Public Space
ランチ，学生街		ビルの壁，シャッター
■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア		
千代田区の新条例「全てのビル壁には折りたたみカウンターと椅子を設置すること！」		
・まち中の壁にコンパクトに折りたためるカウンターと椅子がついている ・カウンターと椅子のデザインはデザイナーや建築家の案からコンペで決定し、まちにたくさんの種類のカウンターと椅子が設置されている状態に ・近隣のお店とも連携し、ケータリングできるようにする ・壁ランチも、壁ディナーも、壁デートもできる ・人の目があるため、治安向上、美化にもつながる ・オーナーのメリットとして、助成金がもらえるなどの仕組みがあると良い ・まちが元気になり、税収も UP するので、街全体にメリットがある ・道路に面していなくても、公共の場所にある壁にはつくる（体育館、区の施設） ・案内用地図を作成 		



Title	
Kanda Media Fes	
3 グループ	
■掛け合わせる神田の魅力	■利用する Public Space
日本で最初の映画館：線輝館跡 おいしいごはん屋さん	× 広い車道 警察通り前面側のビル
■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア	
商業映画発祥の地・神田でメディアフェスを行う	
・ 関東における商業映画発祥の地というまちの履歴を活かして「メディアフェス」を行う。	
警察通りを歩行者天国の観覧席としてミニシアター等を同時多発で上映する	
・ 警察通りを歩行者天国の観覧席とする	
・ 一定間隔でスクリーンを配置し、ミニシアターを上映する	
・ 写真、動画などメディアに関連するものであれば、すべてをフェスの対象とする	
映画監督の登竜門となるショートフィルムコンテストを開催する	
・ ショートフィルムの監督はたくさんいる	
・ 映画監督の登竜門となるようなコンテストに育てる	
・ 地域住民も投票で審査に参加できる	
警察通り沿道で多世代が集えるような催し・場も同時に提供する	
・ 上映スクリーンは音響などの関係で一定の距離を開けて配置する	
・ 一定の距離が必要ということを利用して、スクリーンとスクリーンの間には、屋台のほか、地域住民や町会、商店会が様々な催しや場を提供する	
・ その取り組みを通じて、子ども、家族連れ、高齢者、町会関係者、商店街関係者などの神田に関わる多世代の人々の交流の機会とする。	

Title

Holiday Spot Project

3
グループ

■掛け合わせる神田の魅力

神田は意外と多国籍
土日は静か、小さな街区

×

■利用する Public Space

土日の駐車場

■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア

神田には小さな街区を構成する路地沿いに小さな青空駐車場が点在している

- ・小さな街区を構成する路地が多い
- ・路地沿いに小さな青空駐車場が点在している

特に土日（ホリデー）、小さな青空駐車場が未利用状態になることに着目

- ・平日の青空駐車場はビジネスマンなどに利用されているが、土日はあまり利用されていないので、未利用地となる

土日（ホリデー）に小さな青空駐車場の地上レベルだけではなく、上部空間（人工地盤）もあわせて活用して路地沿いに様々な場（スポット）を創出する

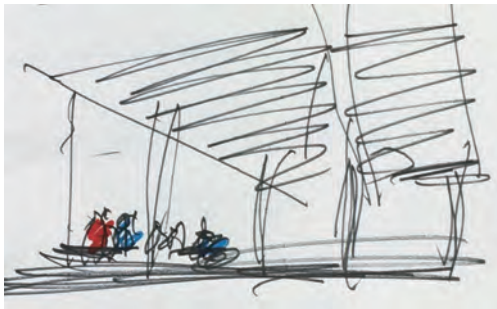
- ・小さな青空駐車場の地上レベルだけではなく、簡易な人工地盤をつくり、その上部空間も活用する
- ・土日は、駐車する車両がない地上レベルと人工地盤をあわせて活用、平日は人工地盤の部分のみの活用する
- ・特に土日はすごく静かであるため、路地沿いの憩いのスペースとしても活用できる

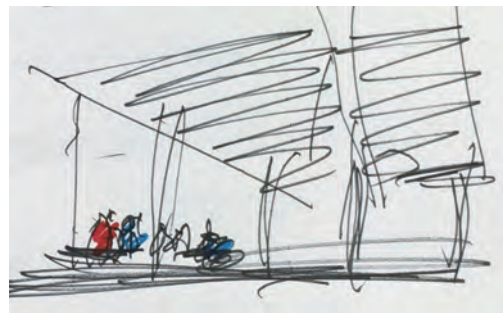
スポットづくりは、所有者、住まい手、働き手のニーズにあわせて、様々な活用可能性がある

- ・駐車場の上を公園に
- ・駐車場の上を喫煙所に
- ・駐車場の上でハーブなど、外国の珍しい農産物を栽培、等



Title		
肩書きを超えたコラボ！ ボーダーレス・コンテンツをつくろう！		3 グループ
■掛け合わせる神田の魅力	×	■利用する Public Space
町会 がんばっている個人商店		Ⅰ階部分 路地
■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア		
地元関係団体がコラボすれば色々な取り組みが生まれそう ・団体が個別に活動するだけでなく、所属・肩書きを超えて住民が集まれば、神田なら様々な取り組み可能性がある 路地沿いのⅠ階部分に、所属や肩書きに関係なく住民が集まれる場所をつくろう！ ・子ども、サンバ、リズム、ワクワク、動く、美味しいをキーワードにしてコンテンツをつくり、まちに笑顔を溢れさせよう！		
		

Title		
高架下のおじさん大学		4 グループ
■掛け合わせる神田の魅力	×	■利用する Public Space
おじさんが多い 大学が多い		JR の高架下
■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア		
高架下おじさん大学。渋い、味のあるおじさんのいるまち、神田！		
・神田の大学やまちとコラボした様々な授業を高架上で受講できるような、おじさん対象のまちの大学 (授業の例) ・近隣の大学から出前授業をしてもらう ・神田のカレー屋さんからカレーづくりを学ぶ ・学生から栄養学や被服学を学ぶ ・学生が高架上での“飲み方”をおじさんに学ぶ		
		



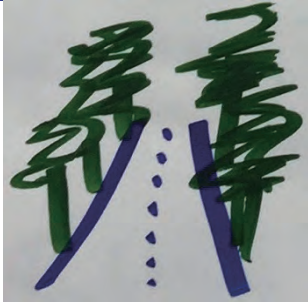
Title		
アーバンキャンプが日常的に楽しめる！屋上キャンプ		4 グループ
■掛け合わせる神田の魅力	×	■利用する Public Space
都心 中小規模の事務所、会社が多い 飲食店が多い		公共施設の屋上 東京に来たと思える場所 土曜日の朝を自宅以外の場所で 迎える宿泊場所がほしい
■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア		
屋上でアーバンキャンプ		
・ビルの屋上でビアガーデンを楽しむ ・夜空を見ながら寝られるようにする ・神田で働く人達が仕事で帰りが遅くなった時に泊まったり、地方から来た人がキャンプ感覚で東京の夜を楽しむ		



Title		
“ひとり(ソロ)ボート”の聖地！神田		4 グループ
■掛け合わせる神田の魅力	×	■利用する Public Space
世界唯一の古本のまち		神田川
■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア		
水辺の古本市で買った本がすぐに読める！神田川のソロボート ・神田川の水辺で古本市を開催し、買った本をすぐに読めるスペースも提供する ・一人用（ソロ）ボートに乗り、買った本を寝ながらゆったりと読みながら1人の時間を楽しむ ・水上ボートの出前サービスで、神田の美味しいコーヒーやカレーを楽しむ		
		

Title		
青空オフィスデー		5 グループ
■掛け合わせる神田の魅力	×	■利用する Public Space
時間や日程を定めて路地を活用 オフィス街のランチタイム		路地
■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア		
路地がコワーキングスペースになる！ ・ふだん会社の中の人同士としかコミュニケーションができないので、外に出て違う会社同士で情報交換や相談するなど、屋外で交流することで、新たな仕事のアイデアも生まれる。 就職活動の展示会 ・社外の人と社内の人場所を交換し、就活中の人や家族などもふだん家族がどんな仕事をしているかを見られる機会にする。		

Title		
ビルの屋上で図書グランピング		5 グループ
■掛け合わせる神田の魅力	×	■利用する Public Space
個性的で小さな店 書店、カフェ		歴史ある建物 ビルの屋上
■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア		
歴史的建造物内、屋上で古書グランピング		
・神田は歴史的建造物が多いので、中に入る機会があると良い。 ・オフィスビルの屋上が活用されていないので、ビアガーデンなど楽しみながら使えると良い。 ・1階のテナントが屋上でも営業できるなど、ビルをフル活用して今までの営業形態を超えたチャレンジをする。 ・静かに本を楽しめたり、イベント仕立てにして古書をみんなで楽しむ機会をつくる。 ・グランピングのように、屋上に寝泊まりしたりするとさらに本を読む楽しさがひろがる。		

Title		
みどりのアーチ、トンネル		5 グループ
■掛け合わせる神田の魅力	×	■利用する Public Space
沿道の並木 イチョウ		細い路地 坂道
■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア		
みどりのアーチ、トンネルをつくる		
・ 神田の急な坂道からの眺望を生かして、坂の上からと下からのみどりの景色を楽しむ。		
・ 期間限定のカフェが路上にあることで、より眺望をみんなが楽しむことができるのではないかな。		
・ 沿道に豊かな並木があることで、涼しく快適な道を生み出す。		

Title		
公園も使っちゃう裏路地食堂		6 グループ
■掛け合わせる神田の魅力	×	■利用する Public Space
裏通りにおいしい飲食店 道が狭く、建物が高密度		小さな公園 車通りが少ない道路
■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア		
小さな公園を複数のお店のごはん所に		
・小さくて席数も少ないけれど美味しいお店が裏通りにたくさんある ・小さな公園に、近隣のお店共通のテーブル・いすを置いて公園でも食べられるようにしたい ・先払いで購入し、食器をまたお店に戻す ・その代わりに、近くのお店は共同で公園の清掃などの管理を行う		
路地にも椅子を出して外でも食べられるように		
・路地にも丸椅子を出して、お店の前で食べることもできたら良い		

Title		
神田祭りで粋な地元大学生を育てる		6 グループ
■掛け合わせる神田の魅力	×	■利用する Public Space
粋なおじさんが多い 市民力の高さと盛大なお祭り 大学が多くある		神田祭 大学の敷地、建物
■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア		
神田祭りで粋な地元大学生を育てる		
・ 神田祭りの神輿の担ぎ手は減少し、アルバイト等にも頼っている ・ 大学生にも、地元のお祭りに参加したい人は結構いる ・ お祭りの企画会議（実行委員会）を大学の敷地内で、教室などを借りて行う ・ 粋な地元のおじさんから大学生が学ぶことも多い ・ 実行委員会に学生も参加し接点があれば、神田祭りの神輿の担ぎ手も増えるかもしれない		

Title		
青空古本カフェ		6 グループ
■掛け合わせる神田の魅力	×	■利用する Public Space
古書店街、古書		屋上
■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア		
ゆったりと古本を楽しめる場所を		
・古本屋さんの店内は狭いので、ゆったりと古書を眺めるのが難しい ・購入前の本も持ち込める、書店に併設したカフェが増えているが、古本屋でもそうしたサービスができないか		
屋上空間を活用したカフェで古書店にもメリットが		
・屋上にカフェ空間があって古書を持ち込めると良い ・古書店が親しみやすいものになる ・本が結局買われなくても、カフェの売上の一部が本屋に支払われるとか・・・ ・ハンモックもあるといいな		

Title		
古めかしいイノベーション HUB		7 グループ
■掛け合わせる神田の魅力	×	■利用する Public Space
古めかしいレトロな雰囲気 路地、看板建築		小商い ゲストハウス
■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア		
個人が所有している路地に面した看板建築を行政でいくつも借り上げ、起業家や小商いで使いたい人が集まってくる「イノベーション HUB」にする		
・現状の看板建築は「住んでいる」「使っている」「ただそこにある」のいずれか ・若い人、新しいことをやりたい人に積極的に看板建築を貸し出す ・古民家の活用に「カフェ」は新しさが無い。看板建築にあえて「おっ!」と思うようなハイテクなもの、革新的なものが入ってくるといい。 ・IT インキュベーター等を積極的に受け入れ、他の地域の取り組みと差別化を図る ・看板建築を現代的にカッコよく使うことで、その魅力に気付く人をどんどん増やしていき、イノベーションを起こす HUB をつくっていく ・この場をリピートする利用者が多くなり、継続していく仕組みをつくる		
再開発に取り残されたワンブロックを「イノベーション HUB」で活用する		
・再開発にポツンと取り残されたような場があり、そこをあえて活用できると良い ・近隣の東京電気大学の研究家や起業家の、スピニアウト的な場所とできるとよい ・自慢できる、24h 使える、学生や外国人が集まる場所に変えたい		

まかない付き学生ヴィレッジ！

7
グループ

■掛け合わせる神田の魅力

食

蕎麦屋，喫茶店，居酒屋



■利用する Public Space

学生寮

■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア

まちを巨大なまかない付き学生寮「学生ヴィレッジ」にする！

- ・神田界限には大学などが多く、実は若い人が多く集まってくるまち！
- ・まちを巨大な学生寮と見立て、もっと積極的に学生がまちに繰り出す状況を作ること、神田により大きな活気をつくることができる
- ・千代田区で 60 歳以上の方に銭湯チケットを配っているように、区内在住の学生には、提携したまちの定食屋などで割引になる食のチケット（まかない）を配る！
 - 学生はなるべく安い食事を欲している
 - 行政が定食屋等の提携を促してくれるとより良い

学生の何かやりたい気持ちを継続的に受け入れられる土壌づくり

- ・神田には学生の「やりたい！」を受け入れる土壌がある
- ・まちのそば屋の運営を行い、実戦的に学べるサークルがあるとよい。サークルであれば継続的な運営が実現する。
- ・学生は自由な時間が多くあり、活動できるはず

行政や町会の理解も得て、安全なまちをつくっていく

- ・行政や町会の理解を得て、安全なまちをつくっている

Title		
KANDA のまちでマッチング		8 グループ
■掛け合わせる神田の魅力	×	■利用する Public Space
土日は静か 1日毎に違うまちのようになる		湯島聖堂，神田明神，孔子 古民家，古ビルファザード ビル屋上
■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア		
フリマアプリなどを参考にしたマッチングの仕組みをつくる		
・平日はオフィス街だが、休日は静かな歴史散策やお散歩、買い物の街としての顔を持つ神田 界隈。休日に子どもや家族、友達と訪れることができる場所、イベントがあるともっとにぎ わいを創出できると考えた ・しかし、実際にはどこに何があるのか、何ができるのかなどの情報がうまく発信されてい ない。また、訪れるだけではなく、自分が主体的に何かをやりたい人が、寺社やビルの屋上 や軒先、ちょっとした空地を使えると面白い。そういう情報のやり取りができると良い。 ・これらのことからマッチングの仕組みがあったら良いと考えた ・運営費捻出のために、手数料を徴収し、神田エリアで使える通過などもあると良い		
【ポストイットで出された言葉】		
・メルカリなどフリマアプリの場所版 ・Web、アプリのイメージ ・寺社、屋上、店舗などの場所が空いている時間帯 ・神田わっしょい税		

Title		
神田 Civic 祭		8 グループ
■掛け合わせる神田の魅力		■利用する Public Space
充実した食文化・ランチ 本屋・印刷・美術関連の場所 歴史ある企業やお店 かつてあった企業の本社	×	大きいビル 道路の脇 神田のまちなか
■ライフスタイル・ワークスタイルを豊かにするアイデア		
まちなか空間で神田の多様な文化を発信する「神田 Civic 祭」 ・神田界隈の充実した飲食店、本屋、印刷業、美術、額縁、楽器店などが出店し、お祭りの屋台のように小さなスペースを道などに店出し、体験・制作のほか食を楽しむことができるお祭りがあると賑わいが生まれるのではないかと。 ・お祭りでは、<u>歩行者天国にレンタル屋台が並び、「隠れた神田の名品や食」を楽しむことができ、公園などの緑地に移動レストランがある</u>といい。普段店舗には訪れない人が神田のお店を知るきっかけにもなる。 屋台レンタル ・コペンハーゲンにはレンタル屋台リサイクルがある ・コストが安く、機会を増やすことになる ・仲間でお揃いの制服を着ておそろいの屋台を並べる 「隠れた神田の名品や食」を売る ・カレー／ケーキ（シェアオフィス内でつくっている） ・Workshop ・古本、紙、額縁 ・音楽レコード、楽器 ・土日、平日は限定しない 湯島聖堂と神田明神の間を歩行者天国にする 緑地空間に移動カフェレストランを誘致する		